20万人のまちの

◀市長寿会連合会新川会発足30周年の記念企画で、萱田町公園のベンチ3台が素敵な絵でペイントされています。

第25回ニューリバーロードレース in 八千代が開催されました

6年12月8日、厳しい寒さとなりましたが、快晴に恵まれた本大会。寒さに負けないランナーの熱気が会場にあふれていました。

この大会は、市街地や田園風景、新川沿いの自然を眺めながら走ることができ、最長10マイルのコースのほか、3歳から参加できる親子ファンランなど、誰でも参加できるさまざまな種目が設定されています。

今回のゲストランナーでリオデジャネイロオリンピック女子マラソン代表の田中智美さんは、高校生の頃にこの大会に参加しました。当時と同じコースを走り「アットホームで和気あいあいと走ることができた」と感想を話してくれました。

それぞれの目標で温かい雰囲気の中楽しめる大会です。次回参加してみてはいかがですか。

◀親子ファンランは、声をかけ合い楽しく走れます

校歌で歌い継ぐ谷川俊太郎さんの“詞”

市立高津中学校の校歌は、6年11月13日に他界した現代詩を代表する詩人谷川俊太郎さんが作詞しています。「今までにない校歌を」という当時の在校生の思いを取り入れて、校名はなく自然を感じさせる言葉が多く並んだ校歌には、広い視野をもち、さらに世界に羽ばたいて欲しいという思いが込められています。

同校では11月28日「谷川俊太郎さんをしのび、想いを伝えるセレモニー」を市民会館で開き、詞を大切に歌い継ぐという思いのもと全校生徒で校歌を合唱しました。

▲「サバンナ」「フィヨルド」など、校歌としては珍しい言葉がつづられています

◀やちよニュースクリップでセレモニーの様子を配信しています。

2024冬 八千代子どもサミット第13回中学生リーダー研修会

6年12月13日に市民会館で「中学生リーダー研修会」が開催されました。研修会は、八千代子どもサミット事業の一環で、将来を自らの声でよりよい社会へ導く中学生リーダーの育成を目的として、市内の中学校及び義務教育学校から推薦で選ばれたサミット委員の生徒たちが参加しました。

研修中の講演では、さまざまなことに挑戦することや世界を知ることの重要性を学び、さらに実践として韓国の同世代の学生とインターネットを介して英語で交流しました。最後に研修で学んだ内容を共有し、来年度の子どもサミットのテーマについて意見交換しました。

研修のまとめでは、「自分から相手を知ることの大切さを学んだ」「今日の内容を学校でも広めたい」などの意見が述べられ、主体的に考え行動する力を育む場となりました。

◀英語の会話にはじめは緊張しながらも楽しみました

▲研修で得られたたくさんの学びを、学校や地域をよりよくする取り組みに活かします

ミニ・ガイド

■精神障害者家族「対話の集い」 精神障害者を身内に持つ家族が、悩みや心配ごとなどを話し合う「対話の集い」を開催します。1月23日㈭午後1時30分～4時、プラッツ習志野（習志野中央公民館）北館研修室。申し込みは電話またはファクスで習志野八千代心の健康を守る会、渡邊☎FAX453-6760へ

■シニア向け防災講座「首都直下型地震から命を守るため…」 60歳以上の市民対象、40人。1月31日㈮午後2時～4時。福祉センター。申し込みは、1月24日㈮までに電話で市シルバー人材センター☎484-4680へ

市民伝言板

●市民のための歴史講演会 講演Ⅰ「八千代の長屋門の不思議なお話」、講演Ⅱ「成田四族と忍城物語ほか」。1月26日㈰午後1時30分～4時。定員20人。市立郷土博物館。300円。八千代市郷土歴史研究会・小林☎090-2455-9913（市民活動団体公益事業補助金制度対象事業です。）

●八千代ウインターテニスクリニック 市民のためのテニス教室。1月26日㈰午前9時30分～10時50分、11時30分～午後0時50分。各回抽選20人。新川1・2番コート。2,200円。市テニス協会ホームページから申込書をダウンロードし、1月18日㈯までにFAX407-3099へ。同協会・前田☎090-8893-4718

●ポレポレ祭り 筑波大学水野先生の心理学講座「自分に心を寄せて」や当事者による楽器演奏。1月25日㈯午後1時30分～4時、東南公共センター。かたくり会事務局☎080-5924-7914

リサイクル・ガイド

消費生活センター☎483-1151（代表）

●受け付けは、午前9時～正午、午後1時～5時（土曜・日曜日、祝日は休所）。市内在住の人が対象です。企業・営利団体は利用できません。

【ゆずります・無料】 ▶刺繍糸（フランス刺繍用）／各色200本以上 ▶彫刻刀（木彫り用）／14本 ▶衣装ケース／多種多数

上記の他に、市役所1階掲示板・市ホームページでもリサイクル品情報を紹介しています。

やちよ文芸コーナー

■短歌　鶴岡　美代子選

大晦日の「ゆく年くる年」雪深き寺の鐘の音にいずまい正す　（八千代台西）元村　泰介

硝子ごしの陽だまりに置く白き蘭みずみずしかり一輪の咲く　（ゆりのき台）大倉　和子

蟷螂（かまきり）はひたと動かず焼けつきしごうやの葉陰にバッタ見おろす　（八千代台南）二神　節子

近頃の歌は難しいと孫に言う親子で踊りし時もありせば　（八千代台北）石川　静子

ありがとうと言えば終わってしまうから返事のできない君へのLINE　（八千代台西）伊藤　智子

散歩みちに聞こえてくるは虫たちの元気に生きよとうわれへのエール　（ゆりのき台）松田　恵子

師走間近釣り人の居る富士（ふじ）美橋に思いがけず観る雪の遠富士　（大和田新田）小針　光

ゆり起こし今日の天気を報告し老老介護いつまで続く　（八千代台東）木村　和夫

選評　一首目、「ゆく年くる年」は大晦日の恒例番組で、映像の様子を述べるにとどまらず、自分に引き付けて、迎春の心づもりに及んでいる点に幅と味が出た。二首目、全体に明るく、清楚な感じが伝わってきて、さわやかな気分にさせてくれる。三首目、昆虫ながら、意外に獰猛な蟷螂の様子を捉えた。蟷螂は恐らく逆さになってバッタを狙っている。

■川柳　八千代川柳連盟選

朗報と思い開けたら請求書　萱田町　田中まこと

無理という心の壁を破りたい　村上団地　阿部ちえこ

大谷にかまけ忘れた誕生日　上高野　神津真智子

浴衣ピンポン旅の味わいしんしんと　大和田新田　高橋　孝子

リサイクル案山子が着てる僕の服　緑が丘　鈴木　照子

腹八分健康願い薬一分　勝田台　藤川　朝生

ランドセルお守りつけて春を待つ　勝田台　梶田きみ子

庭の柿先にスズメが味見する　八千代台北　下橋　政枝

■俳句　村上　喜代子選

時雨るるや両の手にある大荷物　米本団地　拝詞　妙子

老若が将棋にのめる冬ぬくし　米本団地　唐澤　菊枝

今朝の音おちばしぐれかさらさらと　ゆりのき台　八木ヶ谷聖一

終戦日瓦礫の下より声聞こゆ　勝田　草野　純子

鍬ひとつ立ちて日暮れの冬の畑　上高野　吉田　一朗

すり下ろす大根の香や一葉忌　ゆりのき台　矢尾鐵太郎

この白さ吾のものなるや木の葉髪　八千代台北　加藤　寛昭

屏風ヶ浦黄金に染めし冬入日　米本団地　西川真由美